

坂戸西高生

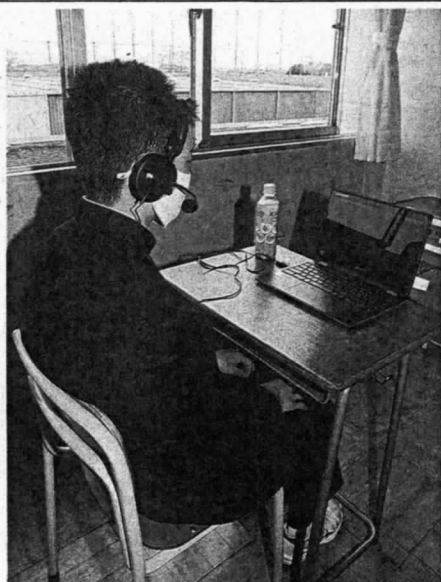
川越観光の秘策提案

オンラインで市観光課も講評

授業で新型コロナウイルスの感染拡大と社会の仕組みを学んできた県立坂戸西高校の一年生が、「コロナ禍に負けない川越観光の秘策」と題して、それぞれが考えた観光振興策を発表するオンラインイベントが開かれた。

現代社会の授業で「なぜ

マスクが不足したのか」などコロナ禍で起きた出来事や、国際分業など社会・経済のかかわりを学んだ生徒ら。オンラインイベントでは、冬休み中に川越市の観光振興策を学んだ生徒五人がそれぞれアイデアを発表し、別の生徒一人は自作の動画作品を発表した。



教室からリモートでオンライン発表に参加する生徒＝坂戸西高で



オンライン発表のパソコン画面（一部画像加工）

生徒らは、ユーチューブ

の川越市公式チャンネルの登録者が七百人台（十六日現在）にとどまっている点を指摘し、チャンネルの拡充や会員制交流サイト（SNS）で若者に発信しても

ルドを着けての演技が続く＝戸田市で

かる。マスク越しに歌うの

触しないようにした。今月

Co.jp」から。

対象者は首の居住者。毎

らう施策を提言。歩行者天国で飲食できるようにしたり、観光地にスタンプ台と写真映えるスポットを用意して、スタンプに応じて割引券がもらえたりするイベントなどを提案した。

（中里宏）

感染拡大の防止へ

モニタリング検査

国と県が開始

発表を聞いた市観光課職員らは「提案の中には、まさに私たちがやろうとしていることもあった」と講評。発表者の一人の櫻又桜

新型コロナウイルス感染再拡大の兆候をつかむた

133人感染、3人死亡

県内では二十日、新型コロナウイルスの感染者百三十三人と死者三人が発表された。県によると、死亡したのは八十一歳代の女性三人で、いずれも基礎疾患があった。

県によると、クラスター（感染者集団）が発生して

19日午後9時現在の県ホームページなどから（20日発表の数とは異なる）。かつこ内は前日付の表との比較。一調整中は入院先や宿泊療養先を探している人数。

確認された感染者

さいたま市	5238 (+20)
川越市	1476 (+3)
熊谷市	568 (+2)
川口市	3049 (+19)
行田市	206
所沢市	1364 (+3)
春日部市	823 (+9)
狭山市	485 (+3)
鴻巣市	346 (+6)
深谷市	473
上尾市	771 (+2)
草加市	1072 (+1)
越谷市	1373 (+6)
戸田市	1053 (+3)
入間市	503
朝霞市	744
志木市	427 (+2)
和光市	524 (+2)
新座市	632 (+3)
桶川市	397 (+1)
八潮市	405 (+1)
富士見市	652 (+5)
三郷市	809
蓮田市	183 (+2)
坂戸市	366 (+3)
ふじみ野市	734 (+1)
白岡市	161
東松山市	281 (+4)
鶴ヶ島市	212 (+1)
秩父市	167
飯能市	259
羽生市	122
加須市	294 (+4)
久喜市	564 (+10)
幸手市	113 (+1)
吉川市	290 (+2)
蕨市	476 (+1)
本庄市	397
日高市	199 (+1)
北本市	162 (+1)
三芳町	222 (+2)
ときがわ町	21
上里町	118 (+2)
神川町	21
毛呂山町	155
伊奈町	140 (+1)
吉見町	90
杉戸町	105
宮代町	113
美里町	20
川島町	42
小川町	72
寄居町	116 (+1)
越生町	36
嵐山町	38
松伏町	94 (+2)
滑川町	27
皆野町	7
鳩山町	34
横瀬町	12
長瀬町	18
小鹿野町	7
東秩父村	4
非公表	413 (+2)
県外	1120 (+1)
調査中	37 (+1)
合計	31452 (+134)
入院	559 (+14)



買い占め

十年前の三月十一日、神奈川・藤沢市役所の記者クラブで激しい

揺れに見舞われた。相模湾まで自転車で十〜十五分の距離。震源地との間には房総半島があり、津波被害はないだろうと考えたが、最寄りの水族館職員から「湾へつながる河川が一瞬ほど盛り上がった」と伝えられ、恐怖に駆られたことを覚えている。

当地でもガソリンが全く手に入

め、国と県は二十日、無症状の人に検査に参加してもらう街頭での「モニタリング検査」を始めた。写真。早期対応につなげる狙い。

